

## ④ 内陸にある中央高地の産業の移り変わり 高原を野菜産地に

長野県は標高が高く、冷涼な気候です。  
このような気候の特徴をいかして、**レタス**などの  
**高原野菜**の生産がさかんです。

他の産地よりも出荷時期を遅らせる**抑制栽培**を  
行っています。(高く売ることかできます)

東京などの大都市へ、高速道路で出荷されます。

## 養蚕から果樹栽培へ

中央高地にある甲府盆地や長野盆地など、山に囲まれた  
盆地には、**扇状地**が形成されやすい。

↓  
水はけが良いため、水田に適さない。

明治から昭和の初めにかけて**養蚕**がさかんだったので、  
蚕のえさとなる**桑**の畑として利用されていました。

しかし、化学繊維の普及によって、**製糸業**が衰退していき、  
桑畑も減少していく。

まゆから生糸をつくる

↓  
水はけの良さや日当たりの良さを生かし、

**果樹栽培**がさかんになっていきます。

**もも**

**ぶどう**

↓  
山梨県生産1位

... 果物狩りなど**観光農園**が多く見られます。